

大池広場都市公園基本計画



令和 6 年度
播磨町 都市基盤部 土木課

目次

1.現況把握	2
1.1 計画条件の把握と整理.....	2
1.2 上位計画と関連計画の整理	3
1.3 計画対象区域の現況	4
1.4 自然・社会・人文的条件	8
1.5 計画地の現況および写真.....	10
2.課題の把握	11
2.1 キーワードの整理	11
2.2 課題整理	11
3.基本方針の検討	12
3.1 計画の基本方針及び方向性.....	12
3.2 基本コンセプト.....	12
4.ゾーニングの検討	13
4.1 ゾーニングの考え方	13
4.2 ゾーニング計画	13
4.3ゾーンごとのテーマと整備イメージ.....	14
5.導入施設の検討と設定.....	15
5.1 導入施設の検討	15
5.2 歴史にふれる記念碑ゾーンの整備案.....	16
6.整備イメージ図	17



1.現況把握

1-1 計画条件の把握と整理

(1) 計画の背景と目的

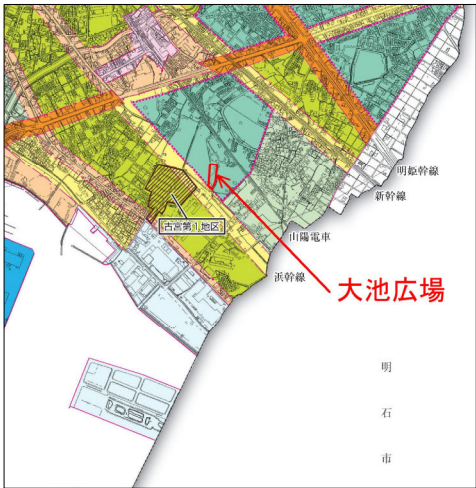
計画地は、播磨町中部地域に位置するため池「大池」の東に接する面積 4000m² 程度の平坦な土地である。当該地は平成26～27年に大池浚渫時の土砂を改良し、大池の一部を埋め立て造成された。なお、埋め立て工事の際に、敷地内に新井用水記念碑が統合整備され、桜並木やベンチ・フェンスが整備された。現在は広大な未活用の平地であり、特別な利用はされておらず、今回、播磨町が都市計画公園として整備計画することとなった。



計画地全景

(2) 計画地の概要

所在地	播磨町古宮二丁目	緑化率	都市公園 50%以上（兵庫県管理） 市町村は努力義務
公園敷地面積	4,000m ²		
分類	都市公園	古宮大池の面積	2ha(当該地埋め立て前)
公園種別	街区公園(誘致距離 250m)	海までの距離	約 700m
区分	都市計画区域/ 市街化区域	最寄りの鉄道駅	播磨町駅(山陽電鉄) 距離 750m 西二見駅(山陽電鉄) 距離 630m
用途地域	第一種低層住宅専用地域	最寄りのバス停	なし
建ぺい率	50%	休憩スペース	駐車 14 台(バリアフリー1 台) 駐輪 10 台(5m)
容積率	100% (外壁後退 1m)		
防火地域	指定なし		
景観地域	指定なし		
避難所	指定なし		



凡 例				
	用 途 地 域	建ぺい率	容積率	外壁後退
	第一種低層住宅専用地域 (建築物の高さの制限は1.0m)	50	100	1m
	第二種低層住宅専用地域 (建築物の高さの制限は1.0m)	60	150	—
	第一種中高層住宅専用地域	60	150	—
	第一種住居地域	60	200	—
	第二種住居地域	60	200	—
	準住居地域	60	200	—
	近隣商業地域	80	200	—
	準工業地域	60	200	—
	工業地域	60	200	—
	工業専用地域	60	200	—
	準防火地域			
	地区計画区域			
	臨港地区(分区分区：商港区)			

用途地域図

1-2 上位計画と関連計画の整理

以下に当該公園に関連する上位計画と関連計画についての記述をとりまとめる。

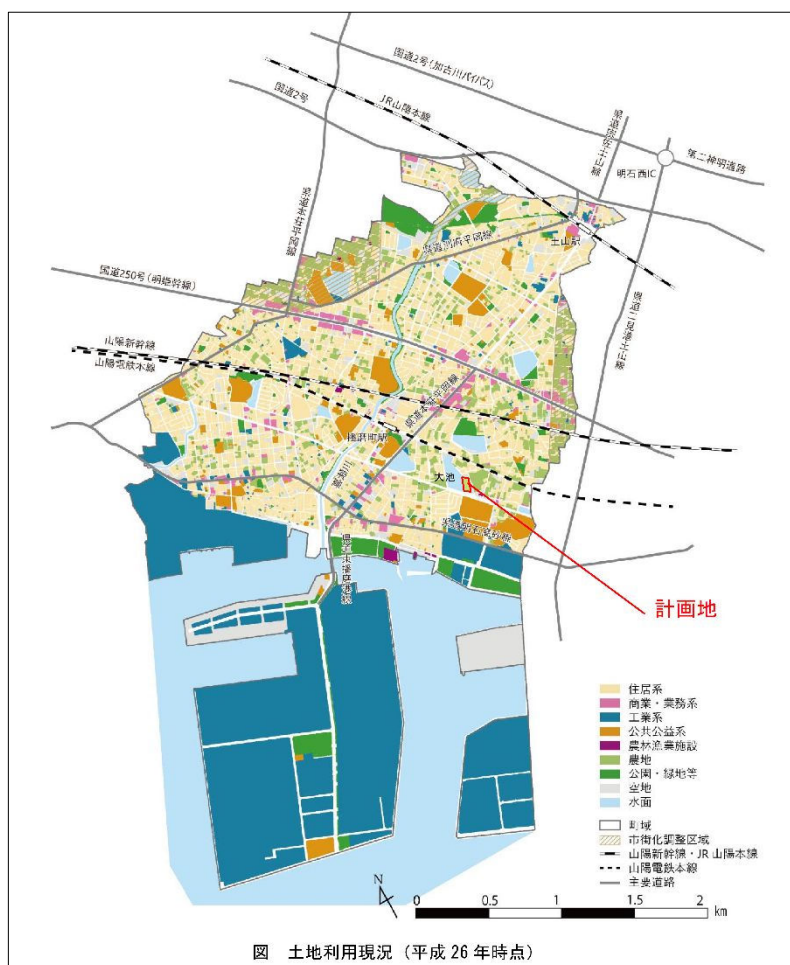
計画名	策定年度	本公園との関連事項
播磨町 第5次総合計画	令和3年 (2021)	(1)公園緑地と水辺環境の保全 ビジョン；水と緑を生かしたうおいのあるまちづくり (P60) 基本目標 1.緑に対する多様なニーズを踏まえ、公共空間の緑化や緑化意識の普及啓発を推進する 2.目にふれる緑を増やし快適な環境を整備する 3.水辺空間の保全や活用を図る
播磨町 みどりの基本計画	平成 29 年 (2017)	(1)緑の課題 1.本町の環境を支えている「公園緑地」や「農地」、喜瀬川やため池等「水のネットワーク」をまちの環境財としてどのように都市環境の成熟化に繋げるか。 2.都市骨格が形成された今、どのように住環境にゆとりと潤いを持たせ、住み続けたいまちを築けるか。(P15) (2)基本理念 「ふるさとの“緑”をみんなの手で」(P19) (3)緑のまちづくりの目標 「緑被率」「一人当たり都市公園面積」「緑視率」を量的に確保(P24) (4)基本方針のうち該当する方針 『市街地のため池・農地を守り活かす』(P25) 『緑の骨格を強める』(P25) 『協働体制を高める』(P25) (5)ため池コミュニティ 播磨町では、「北池」「大池」「妹池」の3つのため池コミュニティが、ため池を核とした地域づくりをめざす「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の協議会構成員として参画している。(P30)
播磨町 都市計画マスタープラン	令和 4 年 (2022)	(1)中部地域の方針 a)地域の課題 ・ため池や公園など地域資源を活用した潤いを感じられる住環境整備。(P59) b)地域づくりの目標 ・農地やため池は、住民や来園者がうおいを感じられる緑のオープンスペースとして保全、活用をはかる。(P61) c)都市環境および自然的環境に関する方針 ・石ケ池、上の池、向ケ池、大池、秋ケ池、布池は生態系を育む場として保全するほか、住民等が安全に水に親しめる憩いの場として整備・活用を検討する。(P62)

以上、これらを反映した公園広場を計画する必要がある。

I-3 計画対象区域の現況

(1) 周辺環境

公園周辺は学校や住宅地、農地で囲まれており、計画地周辺は緑や水辺に囲まれ、比較的開放的な空間が広がっている。また、計画地南側にある播磨町道浜幹線を境に、南側には、学校、工業地帯、臨海公園があり瀬戸内海へとつながる。



土地利用計画「都市計画マスタープラン(令和 4 年)」PII

(2) 現況把握と敷地分析

- ① 計画地西側には農業用水等のため池である「大池」が広がっている。
- ② 計画地北側には住宅街があり、その北を山陽電鉄本線が通っている。
- ③ 計画地東側は農地があり、農地と公園計画地の間には道路整備が計画されている。
- ④ 計画地南側は町道浜幹線をはさんで、播磨南中、播磨南小、播磨南高があり、朝夕には通学の生徒でにぎわう。

なお、計画地南側には駐車場・トイレがある。



計画地位置図



① 大池から計画地を望む



② 古宮2丁目の住宅街



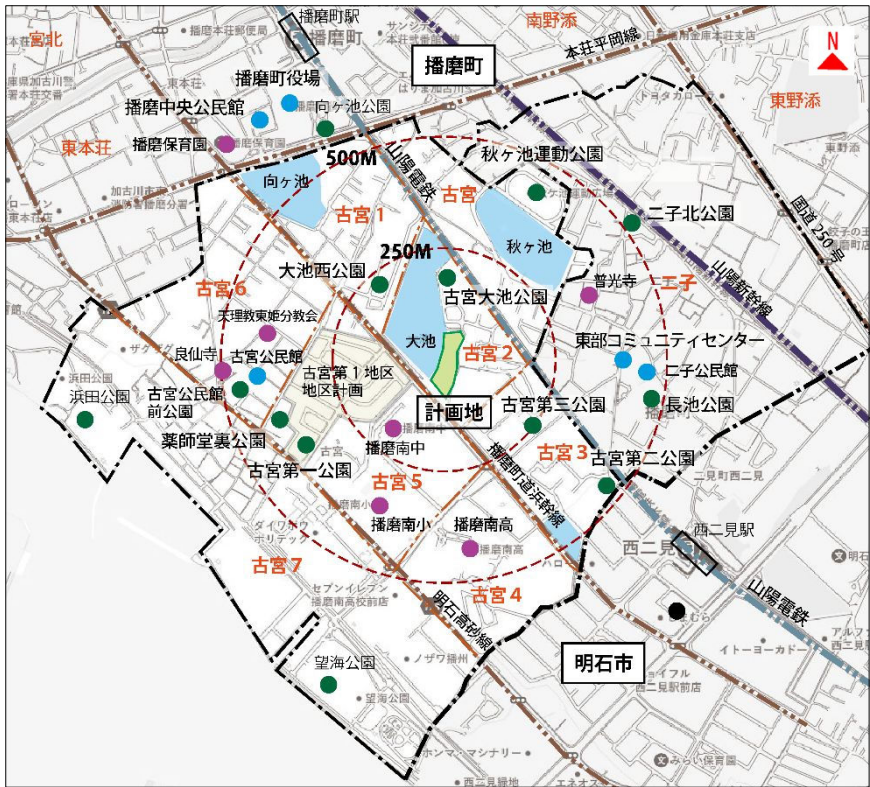
③ 農地から計画地を望む



④ 駐車場とトイレ

(3) 周辺公園

計画地近隣の街区には下記のような公園が立地している。ほとんどが街区公園であり、狭小地に小遊具等が設置された小さな公園が、住宅地内に多く点在している。比較的近年に整備された公園が多く、良好に管理され地域住民に利用されている。



近隣公園および地域資源

計画地から 250m内外の公園

名称	種別	主な施設	面積	備考
古宮大池公園	街区公園	滑り台、ブランコ、砂場	0.02ha	計画地に最近接
大池西公園	街区公園	滑り台、ブランコ、砂場、水飲台	0.01ha	
古宮第三公園	街区公園	滑り台、ブランコ、スイング遊具、水飲台	0.01ha	



古宮大池公園



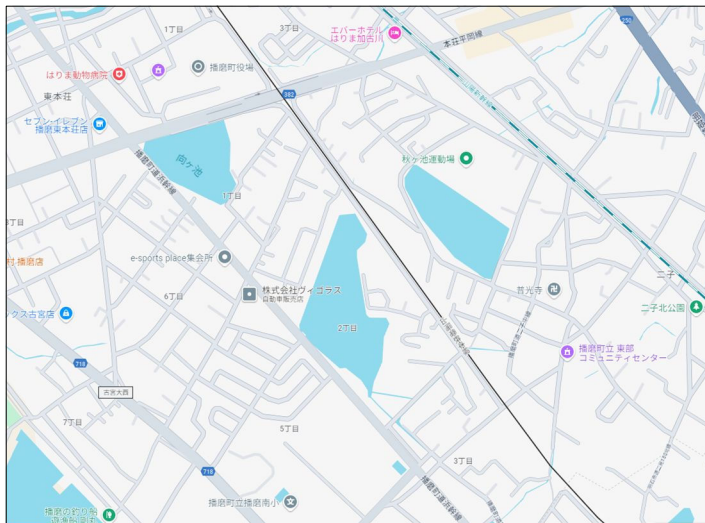
大池西公園



古宮第三公園

(4) 土地条件・敷地条件

平成 24～26 年度にかけ、「大池」の汚染物質の基準値超過や悪臭発生を受け、周辺環境の改善や農業用水の水質改善を目的とした浚渫工事が行われた。この際、浚渫された土砂は改良され、浚渫土砂として現在の公園計画地に埋め戻された経緯がある。（ため池等整備事業 大池地区浚渫工事資料より）



浚渫前の大池の形状

(5) 植生・地形・土地利用

当該計画地は大池の浚渫による埋戻しの造成地であり、全体的に平坦な空き地である。大池沿いにサクラとベンチが整備されており、新井用水記念碑周囲にはカナメモチが生垣利用されている。地形はほぼフラットで、地盤は埋戻し時の浚渫土砂の地盤改良により比較的強固な地盤であると考えられる。計画地は現在、大池の清掃活動やため池学習の拠点となっている以外は、特別な土地利用はされていない。



桜並木



計画地の平坦な地形

1-4 自然・社会・人文的条件

(1) 自然環境

計画地には大池が隣接し、周辺には農地も残存しているため、都市計画区域内でも自然環境にめぐまれた場所に位置している。大池の水中には鯉や鮒、外来種のミシシippieアカミガメ等があり、カワウ、カルガモ、ムクドリ、サギ、カイツブリ等の野鳥が観察されている。

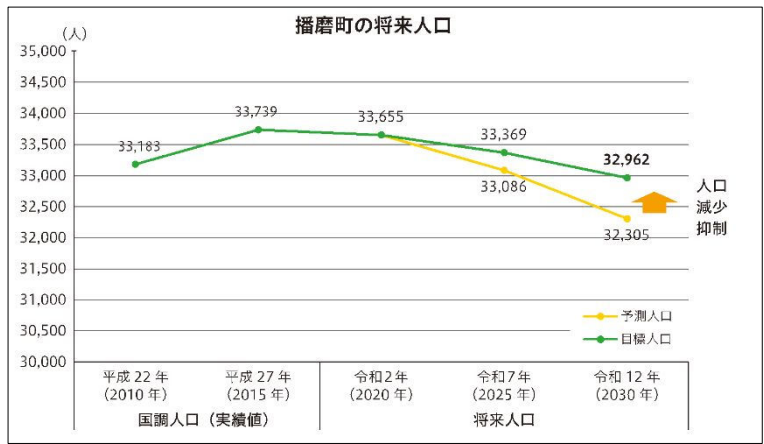
(東播磨ため池歳時記 P46「大池」より)



大池に生息する野鳥

(2) 人口

播磨町の人口は第5次播磨町総合計画策定(令和3年)の段階では減少すると予想されていたが、令和2年以降は34,700人程度で横ばいに推移している。



第5次播磨町総合計画(令和3年)

調査年	人口
令和2年(2020)	34,712人
令和3年(2021)	34,793人
令和4年(2022)	34,811人
令和5年(2023)	34,916人
令和6年(2024)	34,687人

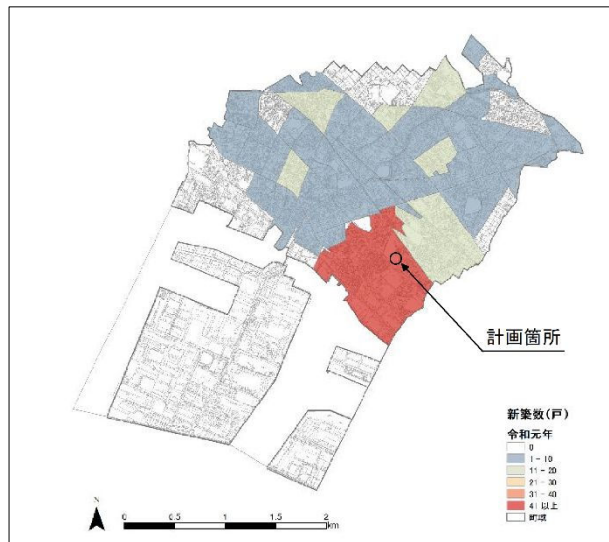
播磨町住民登録人口

計画地周辺の人口は以下のとおりである。

	0～14歳(%)	15～64歳(%)	65歳以上(%)	合計
播磨町	4,843(13.9%)	20,376	9,517(27.3%)	34,736
古宮1丁目	165(29.1%)	304	98(17.3%)	567
古宮2丁目	73(29.0%)	141	38(15.1%)	252
古宮3丁目	116(25.7%)	270	65(14.4%)	451
古宮4丁目	16(6.7%)	183	40(16.7%)	239
古宮5丁目	223(29.8%)	455	70(9.4%)	748
古宮1～5丁目	593(26.3%)	1353	311(13.8%)	2257
全国	(11.2%)		(29.3%)	

計画地周辺(古宮1～5丁目)における若年人口は全国や播磨町の平均に比べて高く、また、高齢人口は若年人口より低いという傾向にある。また、現在のところ人口は減少傾向にないが、さらなる魅力ある町づくりが期待される。

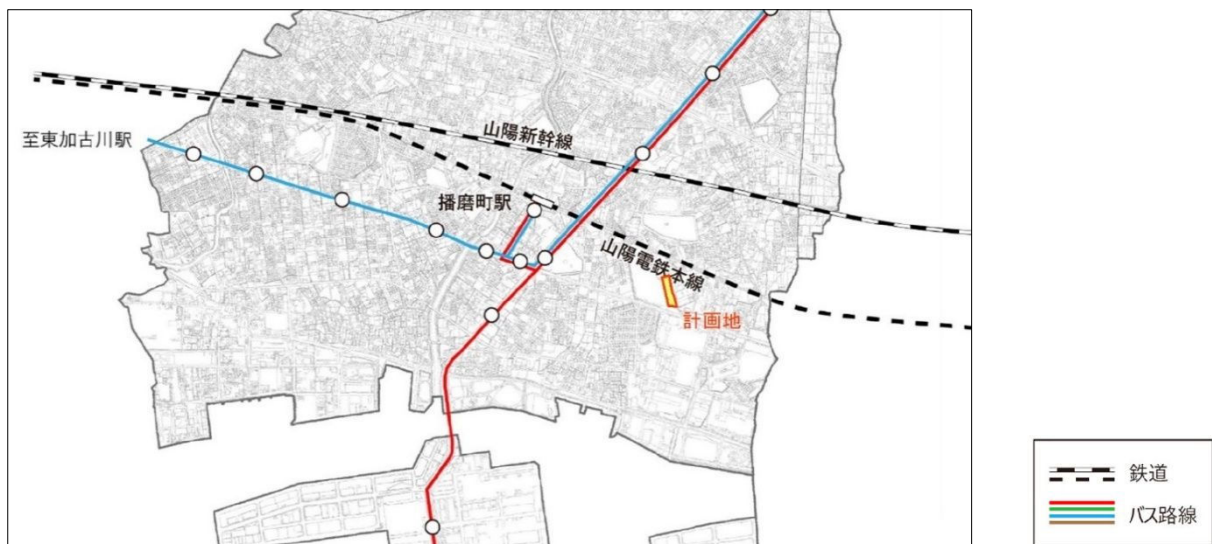




建築確認の状況(都市計画マスタープラン令和4年)

(3)公共交通およびアクセス

計画地は、公共交通の駅やバス停から離れており、計画地への公共交通機関の便はあまりよくない。ただし、計画地に隣接して、播磨町の管理する駐車場・駐輪場が整備されており、自動車などを利用すれば周辺地域以外からのアクセスは良好である。



計画地周辺の公共交通網

(4)新井用水記念碑

明暦2(1656)年、古宮組大庄屋今里傳兵衛が平松井堰(言加古川大堰)から五ヶ井用水の水を分水してもらい、途中の田や池を潤わせながらこの大池まで約14kmの新井用水を開削した。計画地にはこの功績を称える記念碑がある。



新井用水記念碑

1-5 計画地の現況および写真

以下に計画地の現況写真を示す。



現場状況写真

【計画で注意すべき点】

- ・上位計画の示すように「ため池」という地域資源を活用した潤いを感じられる住環境整備が必要である。
- ・水と農地、住宅地に溶け込むような景観づくりが必要である。
- ・計画地周辺では新興住宅が広がり、子育て世代が今後コミュニティを形成していく場を必要としている。

【施設】

- ・活用できる周辺施設はうまく利用していく。敷地の南側には休憩所のトイレ・駐車場・駐輪場が隣接する。また、大池側（西面）にあるフェンスなどは、点検等で安全性を確認し、うまく活用する。
- ・歴史的記念碑があり、新井用水の歴史と先人の知恵と努力を受け継いでいく場所となる。
- ・すでに整備済みの既存のさくら並木は地域の愛着もあることから残留し、これからも季節を感じる並木として親しんでいただく。
- ・周辺住民のニーズに幼児用の複合遊具を求める意見や、池の管理などに使う倉庫の設置を求める意見がある。

現況のまとめ

	特 性	問題点
大池広場の 特性と問題点	・ため池のある水辺環境 ・閑静な住宅街の端に位置する開放的な土地 ・駐車場・駐輪場・トイレが近接する ・通学路に位置する ・計画地内に新井用水ゆかりの記念碑がある	・緑陰が少なく殺風景であり夏場の暑さ対策が必要 ・子育て世代のコミュニティの場が不足している ・維持管理が容易な施設整備が必要 ・住宅地に対する騒音・目線などへの配慮が必要 ・高齢者も楽しめる施設が周辺公園には不足している

2. 課題の把握

2.1 キーワードの整理

上位関連計画の整理	自然・社会・人文の整理	敷地分析の整理
○水と緑を活かしたうるおいのあるまちづくり (第5次総合計画) ○都市骨格が形成された今、どのように住環境にゆとりと潤いを持たせ、住み続けたいなるまちを築けるか。 (みどりの基本計画) ○ため池や公園など地域資源を活用した潤いを感じられる住環境整備 (都市計画マスタープラン)	○自然環境に恵まれた閑静な場所に位置する ○周辺公園に利用者がくつろげる天然芝の広場が少ない ○小中学校が近く、通学路としての利用が見込まれる ○幅広い年齢層の人々が楽しめる公園がもとめられる ○子育て世代が今後コミュニティを形成していく場を必要としている	○平坦な地形であり、敷地は「ため池」に接している ○ため池沿いには既存の桜並木がある ○既存の新井用水記念碑がある ○新規計画道路の歩道としての役割を有する ○大池遊歩道の周遊動線の確保が必要 ○既存の駐車場・トイレが近接している

2.2 課題整理

キーワードから課題を抽出し、計画地の課題を以下の4つとした。

課題① 地域資源「大池」の有効活用

大池広場の最大の特徴である「ため池」をうまく活用し、レジャーや自然観測、ため池の維持管理に利用できる水上デッキなどの整備が必要である。

課題② のんびりくつろげる空間の整備と利用者の健康増進

住み続けたいまちを目指し、利用者がゆっくりとくつろげる天然芝広場の整備や、地元住民の健康増進を目的とした健康器具の整備、子供の遊び場の整備が必要である。

課題③ 新井用水という歴史遺産の再確認

「新井用水」や「ため池」の歴史を学ぶとともに、先人の知恵や功績をわかりやすく後世に伝える必要がある。

課題④ 人と地域のつながりを深める

地域のニーズにあった多様な世代の交流や活動の場の整備が必要である。キッチンカーを利用したイベント等も可能な多目的広場などの整備が必要である。

3. 基本方針の検討

3.1 計画の基本方針及び方向性

抽出した課題を踏まえ、計画地は「自然を感じる」、「芝生を楽しむ」、「歴史にふれる」、「人と親しむ」の4つのテーマに沿って整備を行う。



新たなため池文化の創造をめざして(兵庫県)より引用

3.2 基本コンセプト

基本コンセプトは以下のとおりとする。

「ため池やその歴史と親しむ緑にかこまれたやすらぎの空間」

自然を感じる	自然体感ゾーン	桜並木で季節を感じ、ため池に住む野鳥や魚・植物に親しむ
	水 上 デッキ	水面上にデッキを整備し水に触れ水に親しむ空間を提供
芝生を楽しむ	芝の広場ゾーン	天然芝や遊具で遊び、緑につつまれるやすらぎの空間を整備
	健康増進エリア	健康遊具を配置した健康増進エリアを大池周遊園路に整備
歴史にふれる	記念碑 ゾーン	先人達の偉業・功績を未来に受け継ぐ記念碑ゾーン
	記念モニュメント	新井用水の歴史に親しめる新たな造形やサインの整備
人と親しむ	イベントゾーン	舗装広場を整備しイベントや地域活動などに利用 キッチンカーの乗り入れも可能とする

4.ゾーニングの検討

4.1 ゾーニングの考え方

当該地は、ため池の古宮大池に接しており、ため池の景観や周遊道と一体化したゾーニング計画が求められる。
また、出入口の整備は、新規計画道路の整備を前提として、安全に利用者が出入りできる計画とする必要がある。
なお、既存の住宅地に配慮した出入口の整備や、維持管理に配慮した樹木の配置なども必要となる。

4.2 ゾーニング計画

敷地は大きく4つのゾーンにわけらる。

1. 記念碑ゾーン ……既存の記念碑を活用した歴史をまなぶゾーン
2. 自然体感ゾーン ……大池へのアクセスを可能とした自然観測・体験のゾーン
3. 芝の広場ゾーン ……本公園のメイン広場であり、遊具で遊び、ゆっくりとくつろげる芝生ゾーン
4. イベントゾーン ……地域の活動やイベントなどを開催できるゾーン

(騒音などを考慮して北側住宅地から遠い位置にゾーニングする。)



ゾーニング計画図

4.3 ゾーンごとのテーマと整備イメージ

各ゾーンのテーマおよび整備イメージは以下のとおりである。

■ 記念碑ゾーン

新井用水の記念碑を通じて地域の歴史を学ぶゾーン
歴史モニュメントやサインなどを整備



■ 自然体感ゾーン

水辺の動植物などを観測、池を体験するゾーン
既存の桜並木と水上デッキ



■ イベントゾーン

地域活動や各種イベントを行うゾーン
キッチンカーも入れる平板舗装された広場の整備



■ 芝の広場ゾーン

広い芝生でのんびりとくつろげるゾーン
東屋や健康遊具を園路沿いに整備



各ゾーンの整備イメージ

5. 導入施設の検討と設定

5.1 導入施設の検討と設定

導入施設はゾーンのテーマに沿って検討する。導入施設は以下のとおりとする。

テーマ	ゾーン名ほか	導入施設	備考
自然を感じる	自然体感ゾーン	ベンチ	古いものは更新する
	水上デッキ	水上デッキ  水上デッキイメージ図	既存フェンスにゲートを整備
芝生を楽しむ	芝の広場ゾーン	天然芝生広場、東屋、複合遊具  東屋イメージ図  複合遊具イメージ図	全天候に対応 雨・日を避ける
	健康増進エリア	健康遊具  健康遊具イメージ図	複数台整備を予定 様々な年齢層に対応
歴史にふれる	記念モニュメント	水飲み、飛び石造形(用水の小道)やモニュメント、内容説明サイン等	次項参照
人と親しむ	イベントゾーン	平板舗装広場  キッチンカーイメージ図	キッチンカーなどでのイベントが可能

5.2 歴史にふれる記念碑ゾーンの整備案

整備コンセプト； 園内の歴史的記念碑「新井用水」を体感できる施設

用水の小道（飛び石造形）の例

新井用水（14km）の歴史を伝える新たな造形の例である。

新井用水を 1000 分の 1 スケールでの水路線形に合わせ
て方位も一致させ飛び石を置き、
水路の形を再現する。

流末の「大池」の部分に水の
めぐみの象徴として「水飲み場」
を整備するなどしてモニュメント
化する。



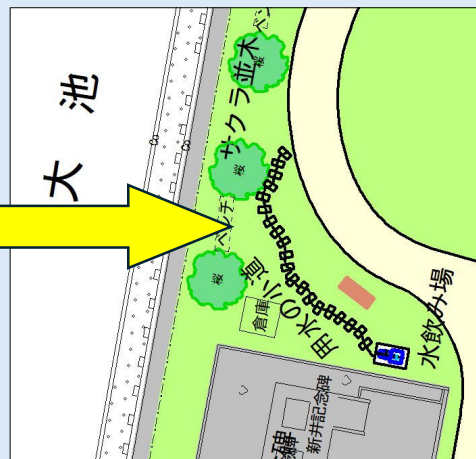
飛び石イメージ

新井用水（14km）



いなみため池ミュージアム資料より

用水の小道（14m）



6. 整備イメージ

